

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.58, 2014.11 : 15-24
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5324
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

清水 正之 しみず・まさゆき

聖学院大学大学院教授。聖学院大学副学長，アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科長，人文学部長。東京大学文学部倫理学科卒業（1971年），同大学院博士課程単位取得満期退学（1977年），博士（人文科学，お茶の水女子大学）（2013年）。日本倫理学会常任評議員，東京大学学生キリスト教青年会理事。専門は倫理学・日本倫理思想史。

〔著訳書〕『日本思想全史』（筑摩書房），『国学の他者像——誠実と虚偽』（ペリかん社），『甦る和辻哲郎——人文科学の再生に向けて』（共編著，ナカニシヤ），『岩波講座 日本の思想』第四卷（共著，岩波書店），『教会と学校での宗教教育再考』（共著，オリエンズ宗教研究所）。ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（共訳，ペリかん社），ほか。

藤原 淳賀 ふじわら・あつよし

1965年岡山市生まれ。聖学院大学基礎総合教育部教授。東京基督教大学専任講師，聖学院大学総合研究所助教授，准教授，教授を経て現職。Ph.D. (University of Durham, England); M.Div. (Golden Gate Baptist Theological Seminary); 教育学修士（慶応義塾大学大学院）。研究領域はキリスト教神学・倫理学。

〔著書・論文〕*Theology of Culture in a Japanese Context: A Believers' Church Perspective*, Princeton Theological Monograph Series (2012); "The Challenge of Yoder and Hauerwas' Theology in the Japanese Context"; 『ジョン・H・ヨーダーの神学——平和を作り出す子羊の戦い』（共著），「キリスト者と戦争——歴史的概観と今後の課題」，「ダビデ——神への畏れと信頼」他。

ホアン・マルティネス Juan Martínez

M.Div. (メノナイト・ブレザレン聖書神学校)，Th.M., Ph.D. (フラー神学大学院)。フラー神学大学院教授。異文化国際プログラム学務担当副部長，ヒスパニックセンター部長。メノナイト・ブレザレン教団按手牧師。教会開拓，グアテマラの聖書学校，神学校の校長を歴任。主たる研究領域は北米におけるラテン系プロテスタント研究。

〔著書・共著〕*Los Protestantes Latino—Protestantism in the United States. Churches, Cultures & Leadership—A Practical Theology of Congregations and Ethnicities.*

加藤 喜之 かとう・よしゆき

1979年名古屋市生まれ。東京基督教大学神学部助教，立教大学文学部キリスト教学科兼任講師。2013年米国プリンストン神学大学院大学博士課程修了（Ph.D取得）。思想史・宗教哲学。〔著書・論文〕『知のマイクロコスモス——中世・ルネサンスのインテレクチュアル・ヒストリー』（共著，中央公論新社，2014年），「神学的普遍性をめぐる討議——スラヴォイ・ジジェクとジョン・ミルバンクによるキリスト教の表象」『日本の神学』第53巻（2014），48–68頁，ほか。

稲松 義人 いなまつ・よしと

1955年生まれ。関西学院大学社会学部で社会福祉を学び，1979年より重度知的障害児者施設「小羊学園」に児童指導員として勤務。1995年より社会福祉法人小羊学園理事長。地域ネットワークを視野に入れた障害児者施設の運営を通して，新しい福祉実践のあり方を問いつつ試行錯誤している。1972年に受洗し，現在は日本基督教団遠州栄光教会信徒。2005年より日本キリスト教社会事業同盟理事長。2011～2013年日本基督教団東日本大震災救援対策本部委員。2012年より日本基督教団信徒常議員を勤める。

菊地 功 きくち・いさお

1958年11月1日，岩手県宮古市生まれ。1986年3月，南山大学大学院修了後，カトリック司祭叙階（神言修道会）。1986～1994年，西アフリカ，ガーナで宣教師。1995年，カリタスジャパンのボランティアとしてザイルで活動。1996～2004年，南山大学講師（非常勤）。2004年4月よりカトリック新潟教区司教。2007年9月よりカリタスジャパン責任司教。2011年5月よりカリタスアジア総裁。

倉沢 正則 くらさわ・まさのり

1952年長野市生まれ。大学卒業後，東京基督神学校，フラー神学大学院（米国）で神学と宣教学を学ぶ。東京基督教大学前学長，現在，同大学神学部・大学院神学研究科教授（宣教学），同大学付属国際宣教センター長，日本宣教会理事，日本国際飢餓対策機構（JIFH）理事，日本ローザンヌ委員会委員長，日本同盟基督教団沼南キリスト教会牧師。

濱野 道雄 はまの・みちお

1965年広島生まれ。上智大学学部・大学院（修士）で西洋哲学を研究。西南学院大学学部・専攻科で神学を学ぶ。日本バプテスト連盟南光台キリスト教会（仙台市）で牧会。ドイツ・ハイデルベルク大神学部博士課程（新約聖書学）、アメリカ・太平洋神学校（Pacific School of Religion）（牧会学博士号取得）に留学。日本バプテスト連盟宣教研究所所長を務める。2013年より西南学院大学神学部准教授（新約聖書学，キリスト教倫理学）。2011年3月11日以降、日本バプテスト連盟東日本大震災被災地支援委員会委員として神学的整理と原発課題を担当。〔訳書・著書〕 ハワード・C・キー『イエスについて何を知りうるか』（訳書，新教出版社），『宣教ってなんだ？—現代の課題と展望』（共著，キリスト新聞社），『なぜ「秘密法」に反対か』（共著，新教出版社）等。

藤掛 明 ふじかけ・あきら

1958年生まれ。1982年大東文化大学文学部卒業。臨床心理士。博士（学術，聖学院大学）。法務省心理技官として長らく勤務し，富山少年鑑別所首席専門官を最後に，2003年より大学に転じる。現在，聖学院大学准教授。日本描画テスト描画療法学会理事，日本犯罪心理学会理事。

〔著書〕『非行カウンセリング入門』（金剛出版），『描画テスト・描画療法入門』（金剛出版），『ありのままの自分を生きる』（一麦出版社），『雨降りの心理学』（燃焼社），『一六時四〇分』（キリスト新聞社），『聖書と村上春樹と魂の世界』（共著，地引網出版），『被災者と支援者のための心のケア』（共著，聖学院大学出版会），『災害とこころのケア』（共著，キリスト新聞社）など。

堀 肇 ほり・はじめ

鶴瀬恵みキリスト教会牧師，聖学院大学大学院非常勤講師，聖学院大学総合研究所カウンセリング研究センター牧会電話相談カウンセラー，ルーテル学院大学非常勤講師，日本パストラルケア・カウンセリング協会事務局長，臨床牧会スーパーヴァイザー（PCCAJ認定）。社会福祉法人東京いのちの電話評議員，社会福祉法人キングスガーデン埼玉評議員等を務める。NHK学園講師（聖書講座）等も歴任。日本福音主義神学会会員，日本家族心理学会会員。

〔著書〕『被災者と支援者のための心のケア』（共著，聖学院大学出版会，2011年）。『こころの散歩道』（いのちのことば社，2008年）。『たましいの慰めこころの余裕』（同，2000年）。『福音主義神学における牧会』（共著，同，2003年）。『心で読む聖書のにげん模様』（いのちのことば社マナブックス，2009年）。『心の部屋を空けて』（同フォレストブックス，2006年）。『さよならポート』（訳，同フォレストブックス，2003年）。『こころにやさしく』（CLC出版，

1996年) など。

〔訳書〕メアリー・ジョスリン文，クレア・リトル絵『さよならボート』（いのちのことば社フォレストブックス，2003年）。

大友 幸一 おおとも・ゆきかず

保守バプテスト同盟・塩釜聖書バプテスト教会牧師（実践神学博士）。宮城宣教ネットワーク代表。日本国際飢餓対策機構理事。JCGI（日本教会成長研究所）理事。

東日本大震災（2011年3月11日）で宮城県仙台市若林区にあった実家と叔父を津波で失う。その1週間後から被災地支援活動をスタート。数週間後に当教会の復興支援プロジェクト「ホープみやぎ」を立ち上げた。

〔論文〕「宮城県内の教会増殖の提言——信徒主体の「家の教会」による開拓伝道」（ルサーライス神学校博士論文，2011年）。

鈴木 真 すずき・まこと

1950年生まれ。日本大学法学部卒。会社員を経て，米国宣教団体ライフミニストリー（現：アジアン・アクセス）スタッフ。聖契神学校卒，福音伝道教団・福音キリスト教会牧師を経て，現同教団戸塚めぐみキリスト教会牧師。同教団教育局局長，伝道局局長，教団運営副委員長を歴任。現在，東日本大震災支援グループ，イザヤ58ネット代表。

吉田 隆 よしだ・たかし

1961年横浜生まれ。仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク「東北ヘルプ」代表。日本キリスト改革派仙台教会牧師（執筆当時）。現在，神戸改革派神学校校長。日本キリスト改革派甲子園教会牧師。

〔著書〕『カルヴァンの神学と霊性——来るべき生への瞑想』（新教出版社），『これからの福祉と教会』（共著，いのちのことば社），ほか。

〔訳書〕『ハイデルベルク信仰問答』（新教出版社），ビエルマ他『ハイデルベルク信仰問答入門』（教文館），ラッド『新約聖書と批評学』（共訳，いのちのことば社）。

川上 直哉 かわかみ・なおや

1973年北海道生まれ。神学博士（立教大学）。東京基督教大学寮務課寮務係，日本基督教団仙台市民教会主任担任教師を経て，現在，東北学院大学・仙台白百合女子大学非常勤講師，東北

ヘルプ事務局長，宮城県宗教学法人連絡協議会常任幹事・宮城刑務所教誨師（共に日本基督教団東北教区派遣），世界食料フォーラム・仙台代表，食品放射能計測プロジェクト運営委員長。
〔著書〕『日本におけるフォーサイス受容の研究——神学の現代的課題の探求』（キリスト新聞社），『食卓から考える放射能のこと』（共著，いのちのことば社），『被災地支援と教会のミニストーリー——東北ヘルプの働き』（共著，いのちのことば社）。

木田 恵嗣 きだ・けいじ

1956年群馬県生まれ。東北大学，東北聖書学塾。ミッション東北 福島聖書教会を経て，現在，ミッション東北 郡山キリスト福音教会牧師。ミッション東北委員長。福島県キリスト教連絡会（FCC）代表。福島県キリスト教子どもプロジェクト（ふくしまHOPEプロジェクト）代表。

佐藤 信行 さとう・のぶゆき

1948年仙台市生まれ。在日コリアンの文学者・研究者が主宰する『季刊三千里』（1975～1987年）の編集部を経て，現在，在日大韓基督教会附属の在日韓国人問題研究所（RAIK）所長。外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／全国キリスト教学校人権教育研究協議会／外国人入籍法連絡会の運営委員，福島移住女性支援ネットワーク代表。

栗原 一芳 くりはら・かずよし

1955年東京生まれ。立教大学社会学部産業関係学科卒業後，米国留学。インディアナ州マリオン大学，大学院神学部で修士修了。1984年，日本キャンパスクルセード・フォー・クライスト スタッフ就任。20年間同団体の代表を務める。2011年9月より災害支援団体クラッシュジャパン（一般社団法人）の働きを兼務，現在，東京次期災害対策担当。2013年6月，日本防災士機構より防災士資格を取得。都内30カ所で防災セミナーを実施。地域教会防災ネットワーク推進に携わる。

岩上 敬人 いわがみ・たかひと

1968年和歌山生まれ。関西学院大学・文学部英文科卒。イムマヌエル聖宣神学院卒。1998年米国アズベリー神学大学院卒業（神学修士 M.Div.），2004年英国・マンチェスター大学大学院卒業（哲学博士 Ph.D.）。現在，イムマヌエル狭山キリスト教会牧師，イムマヌエル聖宣神学院教師，東京基督教大学講師，お茶の水聖書学院教師。

〔著書〕『パウロの生涯と聖化の神学』（日本聖化協会出版），『パウロ——ギリシア・ローマ

世界に生きた使徒』(いのちのことば社, 近刊)。

〔訳書〕ラルフ・P・マーティン『ティンデル聖書注解 ピリピ人への手紙』(いのちのことば社), ジェニファー・S・シズニー, ケビン・L・エラズ『危機対応 最初の48時間』(いのちのことば社)。

デービッド・ボーン David Boan

Ph.D. (バイオラ大学)。ホーントン大学心理大学院准教授, ホーントン大学人道的災害支援研究所 (HDI) ディレクター。臨床心理士として30年以上の経験をもち, 地域社会と教会をつなげる働き, 特に障害者や高齢者など社会的弱者を支援するプログラム開発に情熱を傾けてきた。米国自治体での地域保健医療レベル向上のためのプログラム開発, 開発途上国における継続的かつ質の高い支援のためのガイドライン作りも手がける。世界福音同盟 (WEA) 災害対応プロジェクトアドバイザー。

松下 瑞子 まつした・みずこ

青山学院大学文学部英米文学科卒。パリソルボンヌ大学, ジュネーブ開発途上国問題研究所, ジュネーブ聖書学院に学ぶ。WILPF (国際NGO, ジュネーブ), 国連日本政府代表部 (ジュネーブ), TEMA (ヨーロッパ福音青年宣教団体, ローザンヌ), JEMA (日本福音宣教師団, 東京) を経て, 現在DRCnet事務局。翻訳者, 英語講師。

〔訳書〕シャーマン・L・バビオー『女性への暴力』(共訳, 明石書店), バジリア・シュリンク『霊の世界』(マリア福音姉妹会), ほか。

品川 謙一 しながわ・けんいち

日本福音同盟 (JEA) 総主事。日本キリスト合同教会東浦和教会・協力牧師。東京キリスト合同神学院教授。Christian Academy in Japan 副理事長。早稲田大学理工学部建築学科中退。米国 Rhode Island School of Design 建築学部卒業 (美術学士・建築学士)。東京キリスト合同神学院 M.Div. コース修了。2011年4月からJEA総主事に就任し, 東日本大震災への対応にあたった。日本防災士機構認定防災士。

ジョージ・カランティス George Kalantzis

M.A.B.S. (ムーディー大学院), M.T.S. (ガレット福音神学院), Ph.D. (ノースウェスタン大学)。ホーントン大学聖書・神学部准教授。ホーントン初代キリスト教研究所ディレクター。

ギリシャ生まれ。主たる研究分野は初代教会におけるキリスト論，三位一体論の発展。教会とこの世界をつなぎ，世界を変革する触媒としての教会，スタンリー・ハワーズが提唱する「人格を形成する共同体」としての教会形成。

〔著書・共著〕 *Caesar and the Lamb: Early Christian Attitudes on War and Military Service. Evangelicals and the Early Church: Recovery, Reform, Renewal.*

柳田 洋夫 やなぎだ・ひろお

1967年生まれ。東京大学文学部倫理学科卒。東京大学大学院人文科学研究科（倫理学）修士課程修了。同博士課程中退。東京神学大学大学院博士課程前期修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科後期博士課程修了。博士（学術）。現在，聖学院大学人文学部副チャプレン，人文学部日本文化学科准教授，日本基督教団聖学院教会協力牧師。

〔論文〕「山路愛山における『共同生活』概念について」（『聖学院大学総合研究所紀要』37号，2007年），「リチャード・ニーバーの責任倫理と日本人」（『季刊 教会』No.68・69，2007年），「山路愛山の教育論」（『キャンパス ミニストリー』第19号，2009年），「なぜ日本に文化の神学が必要なのか——内村鑑三の文明論を中心に——」（『聖学院大学総合研究所紀要』47号，2010年），「関東大震災と説教者 植村正久と内村鑑三に即して」（『説教黙想 アレテイア』，日本キリスト教団出版局，2011年）など。

〔訳書〕コリン・E・ガントン『説教によるキリスト教教理』（教文館，2007年），アリスター・E・マクグラス『歴史のイエスと信仰のキリスト』（キリスト新聞社，2011年）。

近藤 愛哉 こんどう・よしや

1977年生まれ。国際基督教大学教養学部社会科学科卒。聖書宣教会神学舎卒。保守バプテスト同盟盛岡聖書バプテスト教会牧師。大船渡聖書バプテスト教会顧問牧師。3.11いわて教会ネットワークコーディネーター。盛岡医療福祉専門学校非常勤講師「生命倫理」「キリスト教概論担当」。

〔著書〕『被災地からの手紙 from 岩手』（いのちのことば社，2012年）。

佐藤 真史 さとう・まさし

1980年生まれ。ニューヨーク州立大学バッファロー校，北海道大学大学院理学院数学専攻修士課程卒。農村伝道神学校卒。現在，日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ教団派遣専従者，いずみ愛泉教会担任教師。

桑島みくに くわしま・みくに

横浜市立大学国際総合科学部2年。JECAかもい聖書教会。

鈴木 幸 すずき・みゆき

1979年生まれ。清泉女子大学修士課程，英国ウォーリック大学修士課程，聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。現在，聖学院大学基礎総合教育部ポストドクター。

〔論文〕「児童文学の翻訳に関する一考察——ロアルド・ダール『オ・ヤサン巨人BFG』の言葉遊びについて」（『翻訳研究への招待』No.9, 2013）。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

1943年，東京に生まれる。アンドリューズ大学大学院修士課程修了，東京神学大学大学院博士課程終了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長，エモリー大学客員研究員，聖学院大学大学院教授を経て，現在，聖学院大学客員教授。聖学院大学総合研究所副所長。

〔著訳書〕『キリスト教を理解する』，『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』，『ニーバーとリベラリズム』，『パウル・ティリッヒ研究』（共著），『教育の神学』（共著），チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』，ジョン・ウィッテ『自由と家族の法的基礎』（共監・共訳），ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳），ほか。

金 明容 キム・ミョンヨン

1952年生まれ。ソウル大学校英文科卒業。韓国・長老会神学大学校大学院修了（Th. M）。ドイツ・テュービンゲン大学神学部で神学博士（Dr. theol.）学位取得。プリンストン神学大学院客員教授，韓国組織神学会会長，韓国カール・バルト学会会長など歴任。現在，長老会神学大学校総長，生命神学研究所周長。

〔著書〕『열린신학 바른 교회론（開かれた神学，正しい教会論）』（1997年），『현대의 도전과 오늘의 조직신학（現代の挑戦と今日の組織神学）』（1997年），『이 시대의 바른 기독교 사상（この時代の正しいキリスト教思想）』（2001年），『칼 바르트의 신학（カール・バルトの神学）』（2007年），『온신학（Ohn Theology）（オン神学）』（2014年）など。

洛 雲 海 ナグネ

1964年東京生まれ。日本人。東京神学大学大学院修士課程卒。延世大学校韓国語学堂卒。長老会神学大学校大学院博士課程卒。韓国長老会神学大学校助教授（組織神学）。神学博士（長老会神学大学校）。ソウル・セムナン教会（大韓イエス教長老会統合）協力牧師。

〔論文・訳書〕「伝道のパースペクティブにおける聖霊論——理性・靈性・身体性を統合する統合的聖霊論のための序説的試論」『季刊教会』No. 92。（東京，日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所，2013），「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論」『神学』75号，山口隆康教授献呈論文集，東京神学大学神学会（東京，教文館，2013），‘춘계（春溪）이종성 박사의 종말론’ 책임편집 김도훈·박성규（「春溪 李鍾聲博士の終末論」）責任編集金道訓・朴成奎，『춘계 이종성 박사의 생애와 사상（春溪 李鍾聲博士の生涯と思想）』（서울，장로회신학대학교출판부，2014）ほか，論文翻訳書評多数。

鬼頭 葉子 きとう・ようこ

1975年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了，京都大学博士（文学）。専攻はキリスト教学。2014年より，聖学院大学人文学部欧米文化学科・非常勤講師。

〔論文〕「ティリッヒにおける時間と空間の問題——存在論と歴史の関係」（2010年，『基督教学研究』第30号），「死，その由来とその向こう——後期ティリッヒの宗教思想を中心に」（2011年，『宗教と倫理』第11号），「Ch.テイラーにおけるカトリシズムの特徴とその妥当性」（2012年，『基督教学研究』第32号），「東日本大震災以後の地域共同体再生に対する徳倫理学からの考察」（2013年，『宗教と倫理』第13号）ほか。

齊 藤 伸 さいとう・しん

1983年東京都生まれ。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。学術博士。現在，聖学院大学基礎総合教育部ポストドクター。

〔著書・論文〕『カッシーラーのシンボル哲学——言語・神話・科学に関する考察』（知泉書館，2011年），「カッシーラーにおけるヘルダーの『言語起源論』——「内省」の概念が『シンボル形式の哲学』に与えた影響をめぐる」（『ヘルダー研究』第17号，2012年），「共同感情と間主観性理論——マックス・シェラーにおける他我知覚の四区分」（『聖学院大学総合研究所紀要』52号，2012年）。

五十嵐成見 いからし・なるみ

1980年生まれ。青山学院大学文学部英米文学科卒。東京神学大学神学部及び東京神学大学大学院神学部修士課程修了（組織神学）。日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会副牧師の後、現在、日本キリスト教団花小金井教会牧師。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化科学研究科博士課程在籍。青山学院高等部聖書科非常勤講師。

〔著書〕『主イエスを愛し続けて』（共著，説教熟紀要別冊説教集，教文館，2014年）

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得，単位取得退学。2003年より聖学院大学人文学部日本文化学科所属。2012-13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。歴史言語学・通時統語論・比較統語論専攻。主な研究テーマは，古英語・中英語における言語変化。初期英語のキリスト教文献を中心に，文献学にも研究を進めている。